

| 今月の経済動向（平成28年5月）

● 月例経済報告

	前回（4月21日）	今回（5月23日）	変化*
基調判断	景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。また、平成28年（2016年）熊本地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。	景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。また、平成28年（2016年）熊本地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。	→
個人消費	消費者マインドに足踏みがみられるなか、おおむね横ばいとなっている。	消費者マインドに足踏みがみられるなか、おおむね横ばいとなっている。	→
設備投資	持ち直しの動きがみられる。	持ち直しの動きがみられる。	→
住宅建設	おおむね横ばいとなっている。	<u>このところ持ち直しの動きがみられる。</u>	↑
雇用	改善している。	改善している。	→
生産	横ばいとなっている。	横ばいとなっている。	→
輸出	おおむね横ばいとなっている。	おおむね横ばいとなっている。	→
国内企業物価	緩やかに下落している。	緩やかに下落している。	→
消費者物価	緩やかに上昇している。	緩やかに上昇している。	→
海外経済	弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。	弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。	→

* 前回からの変化：上方修正 ↑、下方修正 ↓、据え置き（表現変更） →

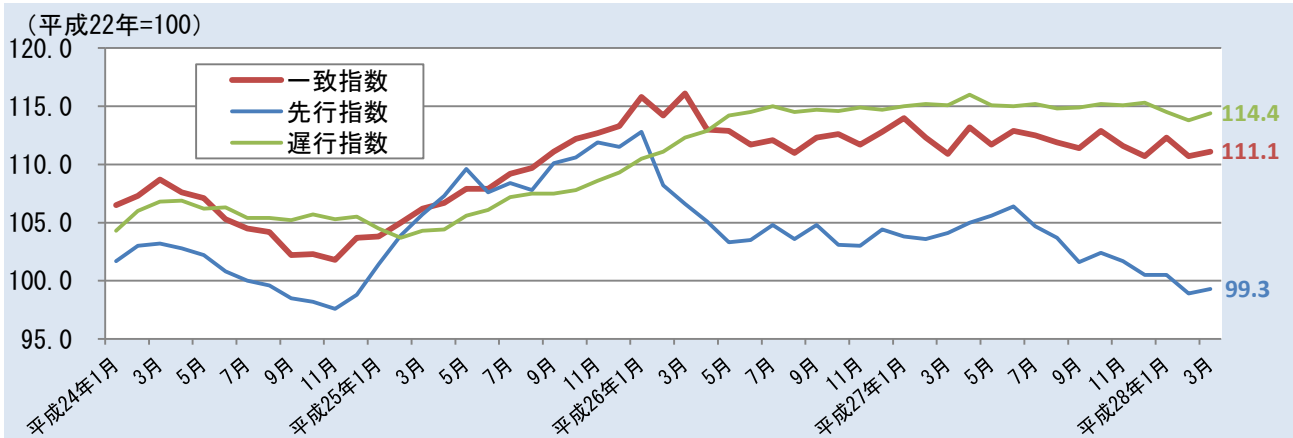
* 下線部分は先月からの主要変更点

[月例経済報告：内閣府](#)

● 景気動向指数（平成28年3月）

平成28年3月のCI一致指数(改訂値)は前月より0.4ポイント高い111.1ポイントとなり、2ヶ月ぶりに前月を上回った。CI先行指数は2ヶ月ぶりに上昇し99.3ポイント、運行指数は3ヶ月ぶりに上昇し114.1ポイントとなった。
景気の基調判断(CI一致指数)は、「足踏みを示している」を据え置いた。

・ CIの推移



[景気動向指数：内閣府](#)